

スマートフォン等安心・安全利用環境整備への取組

1 地域における連携体制の整備

青少年がスマートフォン等を安心・安全に利用できるように、地域の関係者が広く連携し、インターネットリテラシーの向上のための普及啓発活動を行うため、地域連携体制の整備を進めています。

東北管内においては、「東北青少年安心ネット利用環境づくり連絡会」として情報交換等の場を設定しており、既に積極的に普及啓発活動を行っている団体等(自治体(教育委員会等)、インターネット防犯連絡協議会、PTA連合会、電気通信事業者等)を中心に参加を呼びかけ、21団体(平成25年1月28日現在)が参加しています。



2 周知啓発活動

スマートフォンやパソコンを安心・安全に使うことを学ぶ講座「e-ネットキャラバン」の積極的な活用を図るとともに、地域連携体制の参加組織・団体が行う研修会や勉強会への講師派遣・資料提供を行う等、総合的な周知啓発活動を展開しています。

「e-ネットキャラバン」は、スマートフォン、携帯、パソコンの安心・安全な利用のために、保護者や教職員をはじめ、小中高校生向けに実施するe-ネット安心講座です。

東北総合通信局は、一般財団法人マルチメディア振興センター^(*)と協力し、情報通信分野などのボランティア講師派遣企業・団体等のご支援ご協力を得て講師を派遣する出前講座を行っています。

東北管内の平成24年度1月までの実施状況は、122講座(別図1)を開催しており、前年度の64講座に比べ1.9倍の開催状況となっています。

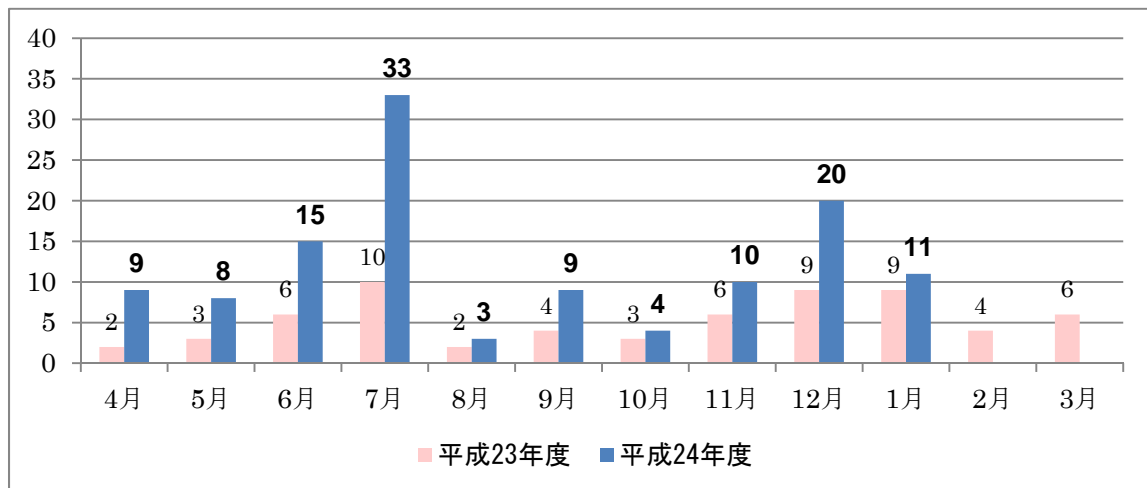
また、対象別受講者数では、児童・生徒16,406名、保護者2,685名、教員1,792名、その他377名であり、延べ21,260名が受講しました。(別図2)(平成23年度の受講者数は、11,631名)

*：一般財団法人マルチメディア振興センター(FMMC)

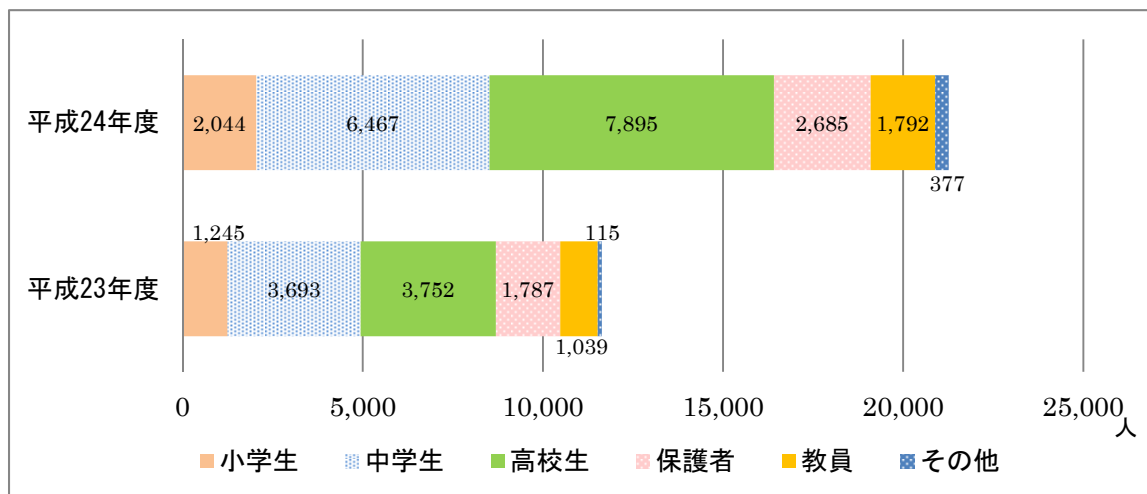
インターネット等のマルチメディア通信に対応するネットワーク及びその利用に関する調査研究、技術開発、実用実験、情報の収集及び提供並びに普及啓発等の事業を行っている。

e-ネットキャラバンは、総務省、文部科学省の支援の下、FMMCが「情報通信ネットワークの安心安全に係る啓発事業」として実施している。

別図1 東北管内のe-ネットキャラバンの実施状況(講座件数)



別図2 対象別受講者数



注：平成24年度は、平成24年4月から平成25年1月までの受講者数